

スポーツを愛する「心」を傷つけていませんか？

～スポーツにおける野次やヘイトスピーチ～

近年、スポーツにおける野次やヘイトスピーチ（憎悪／差別言動等）が問題となっています。

野次

相手を馬鹿にしたり、冷やかしたりするような言葉を発すること。

ヘイトスピーチ

国籍などを理由として、不当な差別的言動によって相手を傷つけたり、差別をあおるような主張をしたりすること。



◆◆こんな問題が起こっています◆◆

◎プロ野球応援団の不適切行為

→A球団の応援団が相手選手へ野次を飛ばす様子がインターネットに掲載され、非難が相次ぎました。球団側からも厳重注意を受けました。



◎プロサッカーチームBの人種差別横断幕

→サッカーチームBの応援団が、スタジアムのゲートに日本国籍以外の人々の入場ができないような表現の人種差別的な横断幕を掲示。応援団はスタジアムへの無期限入場禁止など対応がなされました。



★海外では、特に人種差別的な言動に対して、逮捕や永久追放を含む厳しい対応をする国が増えています。



日本では、平成28年に【ヘイトスピーチ解消法（本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取り組みの推進に関する法律）】が施行されました。

不当な差別的言動とは 公然とその生命、身体、自由、名誉もしくは財産に危害を加える旨を告知したり、侮辱したりするなど、地域社会から排除することを煽動することを言います。

誰もが気持ちよく活動できるために

～スポーツ現場ではこのようなルール・取り組みが行われています～

剣道

剣道において、応援も礼節の一つ。選手と審判がより試合に集中できるよう、試合中の声援は制限され、拍手のみの応援となっています。

サッカー

（公財）日本サッカー協会は、活動現場における暴力行為等の相談を電話とFAXで行える「暴力等根絶相談窓口」を設置し、問題の早期発見・改善・再発防止に努めています。

リスペクト（尊敬・尊重）の気持ちを持とう！

相手チームも相手選手も、「敵」ではなく、同じスポーツをする大切な「仲間」です。

フェアプレーやナイスプレーには、味方も相手も関係なく、ほめ称えあう気持ちを持ちましょう！



野次やヘイトスピーチは、見逃さない！

憎しみや敵意をあおる野次やヘイトスピーチは、言われている人たちの心を傷つける人権侵害であり、差別です。国籍や民族など、異なる人々が互いの文化的違いを認めあうことが大切です。

差別をなくす第一歩として、「人の心の痛みを想像する」「お互いが理解しあう」など、問題に気づく「心」を養っていきましょう。



オリンピック憲章から学ぼう

オリンピックの根本原則などを定めた「オリンピック憲章」では、次のような理念がうたわれています。

『人種、肌の色、性別などを理由とする、いかなる差別も許されない』
『人間の尊厳を尊重する平和な社会を目指す』

オリンピックは、決して、誰が世界一のスポーツ選手かを決めるだけの大会ではないのです。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会(東京2020大会)が開催されます。オリンピック・パラリンピックの話題を人権の観点からも考えることで、より深い理解や感動が得られるのではないのでしょうか。

その他、人権に関する問い合わせ・相談先は9～10ページにあります